



日本共産党
清水 雅人
議員

市政の基本に賃金増対策を

質問 市長が市内の民間事業所やその本・支社等に賃上げの要望をするのが今求められている。利益が出ている企業、特に大企業の社会的責任を求めると、パートから週40時間勤務などへ転換を求めることも重要ではないか。

答弁 安倍首相が、本年2月に経済3団体トップとの会談において、デフレ脱却に向けて賃金を引き上げるよう要請したことは承知しています。しかし、民間企業の賃金水準は企業において決定されるべきであり、市長として賃金引き上げについて強く要請したり社会的責任を求めることは、適切ではないと考えています。

質問 公共工事労務単価が2年連続引き上げられ約25%増となる中で、これが賃金に反映されているかが問題。本市でも把握する必要があるが、方法について伺う。

答弁 市発注の公共事業について

は、労務単価や最低賃金、社会保険料等を基礎として積算を行っています。また、公共工事や建物管理、清掃業務等の落札率は90%を超えており、低価格落札は無いため、受注者に雇用されている労働者の賃金は適正に確保されているものと認識しています。

市街地総合再生計画の策定と三番館の撤退表明について

質問 三番館に継続や市内移転などの要請行動は行ったのか。また、その考えについて伺う。

答弁 三番館撤退の判断に至った経緯や市内移転の方向性、従業員対策について代表者らとの意見交換を実施しています。要請行動については、市民をはじめ経済界の総意のもとに行われることが重要な意味を持つと考えています。

高林デパートの事業廃止表明により、中心市街地と市民生活に与える影響は少なくないと判断しており、早い時期に再開発事業が動くためにも、市街地総合再生計画の策定を急ぐとともに、民間投資のしやすい環境づくりをさらに進めていきたいと考えています。



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

「刷新市長」の市政執行方針について

質問 前田市政総仕上げの年度を迎えるが、「刷新市長」として当選した原点を忘れず見解を。

答弁 私は当初から継続と刷新を掲げ、「誇りとプライドを取り戻す」ことを職員とともに進めてきました。任期4年目は、引き続き市民との対話に努めていきます。

滝川市公共施設マネジメント計画について

質問 滝川市に公共施設が多いことは市民も認識している。休眠状態の公共施設などの用途廃止や撤去を急ぐべき。一方、コミセンが多くて市の財政を圧迫しているという論点で、市民や町内会、老人クラブが最も使用するコミセンを小学校へ集約すると受け取れる計画を、議会で決定していないのに広報たきかわ2月号に載せている。市民のより所として大切に管理し

ている築30年未満のコミセンを廃止する案には、多くの批判や反対が出てくるのではないか。

答弁 人口減・高齢化の本市にあって、公共施設の削減は必要であり、機能が重複した施設や稼働率が低い施設の統廃合を考えていきます。

コミセンの小学校への集約は、関係者や地域の方々と協議し、課題解決を進めます。

質問 小学校にコミセン機能を集約すると言うが、多くの老人クラブは、飲食やカラオケも活発に行っている。教育委員会は、それでも集約できると考えているのか。

答弁 教育に支障を及ぼすことは避けるべきだと思っています。

子どものいじめの防止等に関する条例制定について

質問 江部乙小の自殺した女子児童のためにも、私は本条例制定を求めてきた。制定後は、子どもの心にいじめをなくす火をともしせることが必要ではないか。

答弁 いじめの芽はどの子にもあるとの緊張感で対処します。各学校でいじめ防止基本方針を作成中であり、取り組みを支援します。